

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを 支えていくサービスとして、事業所独自の 理念を作り上げている。	家庭的な雰囲気の中で共同生活を送ることを目的とします。ホーム理念を「心和」とし、心が和み、みんなが一つの気持ちでつながっていけるホーム作りを行っていき るよう支援する。		
2	○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる。	ホーム内に理念を掲示している。	☐	朝の申し送り時、会議の時などを利用して管理者含め職員全体に徹底 するようにします。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続 けることを大切にしたい理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえよう取り組んで いる。	理念はエレベーター前に掲示し見やすいようにしている。	☐	広報に理念を載せ、再度ご家族に理解して頂ける様にする。又町内会 の回覧版に掲載させて頂き、地域の方々にも理解して頂く。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえる ような日常的なつきあいができるように努 めている。	散歩で近所の方等が気軽に挨拶して下さり、近くの公園には小学生や、保育園児も 来ており、気軽に話す事が出来る。	☐	散歩時等は気軽に話せるが、気軽に立ち寄れるような日常的な付き合 いも行われていない為、もう少しご近所との交流を深めて行けるように 努めたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活動 に参加し、地元の人々と交流することに努 めている。	町内会に加入し、夏祭り・盆踊り町内行事や地域活動にも参加している。又事業所 主催の敬老会には、町内会の方々に参加して頂いている。		
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職 員の状況や力に応じて、地域の高齢者等 の暮らしに役立つことがないか話し合い、 取り組んでいる。	冬場は除雪作業を行っている。	☐	年間を通して、月に一度歩道のゴミ拾いなど行いたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員全員で自己評価に関わる事で、事業所の問題点や、良い点、改善すべき点がより明確になる良い機会と捉えている。	☐	評価の結果をホーム会議、運営推進委員会で話し合い、具体的な改善に取り組む。
8	○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に行われていない。	☐	ご家族や、地域の方の協力を得て今後行っていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市の管理者連絡会議などに参加している。	☐	今後も積極的に参加し、情報交換等を行い質の向上に取り組める様に努めて行きたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	認識していない職員が多い。	☐	研修に参加したり、勉強会を実施して制度に関しての理解を深めたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	毎日の生活の中で、職員全員が気を付けて接している。又抑制廃止委員会でも、虐待になっていることは無いが、話し合っている。		
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	見学時にはおおまかな説明はしており、契約時には契約書、重要事項説明書を入居者やご家族と一緒に読み合わせ、ご理解や納得をして頂いている。ご理解されたら、署名と捺印を頂いている。		説明時には気軽に質問をして頂けるように配慮している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情委員会を設置しており、苦情が出た場合は申し送り時などに全職員に周知させ、会議で話し合い改善に取り組んでいる。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月、個人の写真と居室担当者のコメントを乗せた瓦版を送っている。又往診で変化が見られた場合などは、電話にて早急に連絡を入れている。説明時には気軽に質問をして頂けるように配慮している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や、ご家族からの電話問い合わせ時などに意見、不満、苦情は聞くようにしています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日常的に職員の意見や提案を聞き入れ実行する様にしている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者の状況で変化等が見られた場合は、勤務時間の延長や休日出勤、シフト時間の変更を行っています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者の精神的負担を考慮し、人事異動は最小限に抑える努力をしている。最近では職員も定着しつつある。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	実践者研修等に参加させて頂いている。	○	今後研修計画を立てて実行して行きたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。			
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩の確保や、些細な事でも話して貰える体制を大切にしている。		
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	職員の個々の努力や実績など、管理者が運営者に伝えている。職員評価表を作成しており、今後人事・給与を決める評価基準を行う予定。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に出来る限り、お話を伺い困っている事、不安なこと、求めていることを傾聴し全職員に情報提供し、安心して生活できるように努力している。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	利用に至るまでの経緯、困っている事、不安な事等を出来る限り傾聴し、その上で他のグループホームも見学するように勧めています。見学も一度では無く何度も足を運んで頂き、職員や入居者の方と話しをしてもらおう機会を作っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時に本人やご家族の状況から、何が必要か見極め話し合い、必要であれば他のサービスを利用出来るように努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	その入居者の状況に合わせた柔軟な対応を、ご家族と一緒に相談しながら取り入れています。入居当初は慣れていただく事を第一に考えています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共に過ごす時間の中で話を聞いたりしているうちに、入居者一人一人の考え方やこれまでの生活が分かってきたりします。	☐	今まで以上に関係を深め支援する側、される側という意識を持たず、穏やかな生活が出来る様に努めたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	近況報告は随時行っており、ホームでの行事にも参加して頂けるようにしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	面会時にはホームでの生活の様子を些細な事でも伝えるようにしている。又行事の参加の呼び掛け、本人とご家族が楽しい一時を過ぎて頂ける様にしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人が使用していた物を持って来て頂き、本人の生活が大きく変化しない様に努めています。又本人宛の電話等も繋いでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	合う人合わない人は十分承知しているので、食事の席も考えています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	何か有れば気軽にご連絡を頂けるように伝えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員全員が日々のケアの中、本人の思いを受け止める様に努力している。毎日の申し送りで情報の共有を行い、カンファレンスやホーム会議で再検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式の記録を元に把握に努めている。ご家族にセンター方式の記録用紙を渡し、わかる範囲で記入して頂いている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ケース記録には個人の生活の様子を細かく記録に残す事を徹底しています。個人の変化も見逃す事無く記録に残し、職員全員が共有出来るように努めています。	○	記入漏れがたまに有り、再度徹底し職員全員が入居者の状態から全体を把握出来るように努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	日々の観察、意見、アイデアを取り入れた介護計画を作成するようにしている。	○	本人だけではなく、ご家族とも協力し合い本人が今望んでいる事を明確にした介護計画の作成に努めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	期間に応じて見直しを行っているが、状態の変化等があった場合はその都度見直しを行っている。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は記録に残しており、全職員で共有出来るようにしている。又担当者が情報を収集し、カンファレンスにかけ、介護計画書の見直しに活かしている。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望は、その都度ご本人の状況に合わせて柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近所の商店や、理容室などに出掛ける事がある。避難訓練には消防の方に協力をして頂いている。	○	入居者の楽しみや、生きがいを充実させる為にも今後、民生委員の方等に協力をお願いしたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在は行っていません。	○	今後は必要に応じて検討して行きたいです。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在は行っていません。	○	運営推進会議等を利用して、今後地域包括支援センターと協力して行きたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的に往診が行われており、健康管理もされている。又本人の状態に合わせてご家族と相談しながら決めている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医との関わりは無いが、掛かりつけ医との関係は良好で支援は出来ている。		
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	現在は行っていません。全て医師中心に行っており、介護職員であるが支援している。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	協力医との情報の交換も有り、すぐに対応出来るように整えている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	現在は行っていません。	○	今後、重度化や終末期のありかたについては、段階的にご本人、ご家族、掛かりつけ医等と話し合い、希望等を文書で確認しながら進めて行きたいと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化の入居者の方については、事業所として出来る事、出来ない事を明確にし家族や、医師と話し合っている。	○	職員同士での話し合いは十分では無いので、勉強会や研修を通して今後の変化に備えて検討や、準備をして行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	入居される場合はご本人、ご家族からの情報提供は勿論、他のサービスを利用されていた場合はその関係者から、口頭又は文書で情報を提供して頂いている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	入居者の情報を伝える場合は大きな声で喋らないように努めている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	入居者が自己決定しやすいような、質問や声掛けに努めている。	○	日常生活の中で、些細な事でも本人が自己決定出来るように努める。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者の状態や状況を確認しながら、散歩や買い物支援している。	○	基本的な一日の流れは有りますが、その日の入居者の希望要望に出来るだけ沿うようにしています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	入居者の希望に応じて理容・美容室に同行し行っている。身だしなみにも気を付けている。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者の好きな物をメニューに取り入れて、出来る人には一緒に調理や盛り付けをして頂いている。	○	何らかの形で入居者全員が参加出来る様に努めて行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	喫煙する方も居るので喫煙スペースを設けている。体重増加の方も何人か居る為、おやつに関しては少なめに提供している。		体重増加の方も何人か居る為、おやつに関しては少なめに提供している。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者の排泄パターンや状況等を記録し、職員全員が共有出来るようにしている。失敗しても、自尊心を傷つけない様に支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴は好きな時に入れる様にしている。希望に応じて職員同行にて銭湯にも行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間良眠出来る様に、日中は一人ひとりの生活習慣を把握して活動出来る様に支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者本人や、家族の方から話を聞き、出来る事、やりたい事を叶える様に支援しています。	○	もっと入居者一人ひとりに合わせて支援出来る様に努めて行きたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理出来る方にはご家族に相談し、行って頂いている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居者の希望に応じて散歩や、買い物・外食など支援している。	○	菜園を作っているので、入居者の方と

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	行事で、遠出を企画したり、入居者が希望する場所を取り入れて、ご家族と相談しながらご家族も参加出して頂けるよう声掛けを行っている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ホーム内の電話を好きな時に使用出来る様にしている。年賀状等も入居者の希望を聞き出す様にしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間は制限はしておらず自由に訪問出来る様にしています。職員も挨拶や笑顔は絶やさない様にしており、気軽に訪問出来る様にしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月身体拘束になる事は無いか職員全員で話し合い、身体拘束の無いケアに努めている。	○	勉強会及び研修を重ねてより、理解して行きたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	防犯上の理由から夜は施錠しているが、日中は鍵は掛けていない。エレベーター・階段入り口にはセンサーを設置している。		
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中は職員同志が声掛けを行い、入居者の所在の把握見守りをしている。夜間は眠りを妨げる事無く巡回している。夜間は2時間に1回の巡回ですが、入居者の状態に応じてその都度巡回をしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や洗剤は鍵の掛かる所に保管している。包丁は別途保管している。使用する時は必ず職員の見守りの中で行うようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に 応じた事故防止に取り組んでいる。	ひやりハットを活用しており、事故が発生した場合は、事故報告書を作成して、緊急 職員会議を開催して、今後の事故防止に努めている。	☐	一人一人の性格や状態から、行動を予測し事故に繋がらないよう危険 防止の取り組みを徹底するように努めたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全 ての職員が応急手当や初期対応の訓練を 定期的に行っている。	訓練を受けている職員も居るが、職員によっては経験に差が生じている。	☐	定期的に訓練を実施したい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ よう働きかけている。	避難訓練は年に2回開催してる。	☐	今後町内会や、近所の方の協力も得て行いたい。
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家 族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切 にした対応策を話し合っている。	自由に暮らして頂く事と、その反面にあるリスクについては常にご家族や入居者の 方に説明し理解を頂いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見 に努め、気づいた際には速やかに情報を 共有し、対応に結び付けている。	普段の状態・状況を把握し、異常が有ればバイタル測定を行い医師に連絡を取り指 示を受けている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化の確認 に努めている。	服薬している薬の処方箋、職員全員が目を通せるようにファイルに閉じてある。飲ん でいる薬の作用、副作用等職員全員が、把握出来る様に努める。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理 解し、予防と対応のための飲食物の工夫 や身体を動かす働きかけに取り組んでい る。	午前中はヨーグルトを取り入れたおやつを摂取して頂いており、食事野菜を多く取 り入れたメニューにしている。運動不足にならないように、毎日散歩や、体操を取り 入れている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の歯磨きは欠かさず行っている。歯科往診時にも口腔内を診て頂いている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	入居者一人一人の状態や希望に応じて食事量を変えています。毎回記録に残してり、食事量の確認を行っている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	毎朝の掃除、及び食器等の消毒は気を付けている。インフルエンザは入居者、家族の同意の元毎年行っている。職員は勿論、入居者の方も手洗い、うがいは徹底している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材はまとめて購入せずに、入居者の方と一緒に買い物に行き購入している。ふきん・包丁・まな板は一日の最後に必ず消毒殺菌し、冷蔵庫は定期的に清掃するようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	ビルの2階3階を使用している為、玄関は家庭的とは言えないが、花を植えたりと工夫はしている。	○	今後も菜園等をしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間には季節毎の飾り付けを行っている。又行事等の写真も張り出している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間のソファで入居者同士談笑して頂いたりしている。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	一人一人使い慣れた家具を持って来て頂き、本人が居心地良く過せる様に努めている。入居者の状況・状態で変化が見られた場合はその都度家族とも相談しながら、居心地の良い居室作りに努めるようにしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	入居者の体調を考慮しながら、窓の開閉を行い空気の入替えを行っている。又、温度計、湿度計を居間に設置しており、状況に応じてクーラーや暖房を使用している。		冬は乾燥しない様、各居室濡れたタオルを掛けたり、個人の洗濯物を干している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	全フロアーバリアフリーとなっており、廊下やトイレには手すりが設置してある。居室にも個々の入居者に合わせて危険が無いようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレの表示や、各居室に写真と名前を張り、混乱を防ぐ工夫をしえいる。各入居者、一人一人に合わせた声掛けを徹底している。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	外回りのスペースには活用できる空間は殆ど無いが、その中でもプランターで菜園を行ったりしている。ベランダでは洗濯物を干したりしている。		

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2／3くらい ③家族の1／3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2／3くらいが ③職員の1／3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2／3くらいが ③家族等の1／3くらいが ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）